

◆ ‘21ミス日本「海の日」の吉田さんに聞きました②

今年、開催された『第53回ミス日本コンテスト2021』で、ミス日本「海の日」に群馬県出身の大学生、吉田さくらさんが選ばれました。

吉田さくらさんにミス日本「海の日」としての活動や抱負について語っていただきました

活動への抱負

ミス日本「海の日」は、島国日本になくてはならない海の恵みに感謝し、海洋・海事産業への理解と関心を高める役割を担うことを目的に設立されました。私は、ミス日本「海の日」に任命していただいてから、日常生活のなかで海に関わる情報に以前より敏感になっています。

例えば、コロナ禍によって、海運や海事産業への認識が高まっていること。そしてSDGs目標14「海の豊かさを守ろう」で解決すべき問題と現状について、少しずつ理解が高まっていることです。私は海に興味を持ったことで海難事故ニュースにも意識が向きました。先日も人命に関わる事故が発生し、胸が痛み、ライフジャケット着用の重要性を再確認するなど、何気なく生活しているなかでも、海が密接に関わっていることを改めて感じる日々です。

世間でも、少しずつ海洋・海産業への理解が高まるなかで、いまだに多くの方があまり意識することがないからこそ、興味を持っていただくきっかけになりたいと思っています。

ミス日本「海の日」として、豊かな海を守っていくために私たちができることを考えるきっかけや、海で働く方々への感謝の想いを伝えることの重要性を一人でも多くの人に伝えられるよう、発信していきます。想いを行動に移す「きっかけ」となれるよう、皆さんとともに学んでいきたいです。

※SDGs

SDGs(エスディジーズ Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)は、2001年に策定されたミレニアム開発目標の後継で、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のことで、17のゴール、169のターゲットがあり、ゴールの一つに「海の豊かさを守ろう」があります。

「海員だより」